

令和6年度学校評価報告書

令和7年(2025年)3月18日

釧路市教育委員会教育長 様

北海道釧路北陽高等学校長 村 木 宗 徳

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

単位制の趣旨を生かし多様な生徒の学習ニーズに対応するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、自ら課題を見つけその改善方を考えることができる資質・能力の育成に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方針

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育目標	・教育目標については概ね共通理解がされている。 ・スクールミッションについては、単位制の徳所得を生かし、多様な進路に対応している。また、台湾見学旅行をはじめとした諸活動を通し、国際理解教育に力を入れることができた。	・自己評価、改善への取り組みいずれも概ね適切である。
改善方針	今年度は単位制の完成して初めての一年間であった。全ての年次で生徒の個性や能力を伸ばし、国際理解教育の一層の充実を図るため、海外との交流活動、探究活動及び地域人材を活用した活動に来年度も力を入れていきたい。	
学習指導	・指導と評価の一体化を図り、自ら学習を振り返ることで、学習を調整する力を育成している。 ・授業における探究的な活動などを通して、思考力・判断力・表現力を育てている。	・自己評価、改善への取り組みいずれも概ね適切である。
改善方針	教科担任により、上記の評価や活動には差がある。今後は精力的に取り組んでいる教科担任を講師とした校内研修等の充実を図っていく。	
生徒指導	・個々の生徒の理解を深め、組織的な生徒指導については十分にできた。 ・自ら考え、積極的に行動できる生徒の育成には、今まで以上の取組が必要である。	・自己評価、改善への取り組みいずれも概ね適切である。
改善方針	交通安全について、道路交通法の改正に沿って指導を継続したい。また、ネット詐欺が散見される中、加害者にも被害者にもならない指導を行う必要がある。何事に対しても、他者を思いやる心の育成を大切にしていきたい。	
進路指導	・望ましい勤労観や職業観について考えさせる場面を設けることができ、自己実現に向かって努力することを伝えることができた。	・自己評価、改善への取り組みいずれも概ね適切である。
改善方針	総合型選抜を実施する大学等が増えている昨今、知識・技能以外の学力を身に付けさせる必要がある。そのため、探究活動を充実させ、キャリア教育を更に深めていかなければならない。	
健康・安全指導	・養護教諭をはじめとした保健安全部の部員だけに頼るとの無いように、全教員で対応している。 ・研修を行い、教育相談に対する理解を深めている。	・自己評価、改善への取り組みいずれも概ね適切である。
改善方針	今年度は教育相談についての校内研修を実施し、自殺予防について研鑽を積んだ。次年度も継続して研修を行う必要がある。 日頃の生徒の観察はもとより、命の大切さについても日頃から伝えていく必要があり、教職員同士の情報共有に努めていく。	
学校運営	・今年度は複数の校務組織で主担当者の変更があった。それに伴い、職員同士の組織や連携が活性化された。 ・次年度は校内組織の再編があり、今まで以上にチームとして教育活動を行っていく必要がある。 ・市立高校として、国際理解教育を柱とした特色ある学校づくりを更に前進させていく必要がある。	・自己評価、改善への取り組みいずれも概ね適切である。
改善方針	・校務運営組織は各教職員の事情や特性などを考慮し、適切に配置できるよう十分に配慮して円滑な学校運営を引き続き目指していきたい。 ・教職員の長時間勤務については適宜面談等を行い、部活動をはじめとした諸業務を効率的に行うことができるよう働きかけをしていく。	

公表方法

保護者・地域に向けて、自己評価及び学校関係者評価をWebページに掲載する。

3 添付資料 令和6年度自己評価および学校関係者評価書